

令和 8 年 3 月

関係者 各位

学校法人 永井学園
藤影きもの専門学校
奈良コンピュータ専門学校
奈良総合ビジネス専門学校
理事長 永井 宏昌

令和 7 年度学校関係者評価委員会について

拝啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。

平素は本学園専門学校教育にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度も無事教育課程を終える見込みがたち、昨年同様学校関係者評価委員のみなさまにご意見をいただきたく、また、新たに委員となっただきました方々との顔合わせも含めまして、下記の通り令和 7 年度学校関係者評価委員会を実施いたしたくご連絡申し上げます。

ご多忙の折、申し訳ございませんが、別紙評価概要をご参照のうえ、よろしくお願い申し上げます。

敬具

日時：令和 8 年 5 月 9 日（土） 1 3 時から藤影きもの専門学校
1 4 時から奈良コンピュータ専門学校
1 5 時から奈良総合ビジネス専門学校

場所：奈良市西大寺新田町 1－15 学校法人永井学園内 2 1 講義室

添付：評価概要

担当 〒631-0832 奈良市西大寺新田町 1-15

TEL:0742-41-5001

学校法人 永井学園 富森

評価概要

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか
- 1-2 学校の特色は何か
- 1-3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

- 2-1 運営方針は定められているか
- 2-2 事業計画は定められているか
- 2-3 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 2-4 人事、給与に関する制度は整備されているか
- 2-5 教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか
- 2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 3-2 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- 3-3 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 3-4 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
- 3-5 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 3-6 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
- 3-7 資格取得の指導体制はあるか
- 3-8 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 3-9 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4) 学修成果

- 4-1 就職率の向上が図られているか
- 4-2 資格取得率の向上が図られているか
- 4-3 退学率の低減が図られているか
- 4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

(5) 学生支援

- 5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 5-2 学生相談に関する体制は整備されているか

- 5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- 5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 5-5 学生の生活環境への支援は行われているか
- 5-6 保護者と適切に連携しているか
- 5-7 卒業生への支援体制はあるか
- 5-8 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか

(6) 教育環境

- 6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか
- 6-3 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受入れ・募集

- 7-1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか
- 7-2 学生募集活動は、適正に行われているか
- 7-3 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか
- 7-4 学生納付金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか
- 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 9-3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- 9-4 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか

(11) 国際交流

- 11-1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか
- 11-2 受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか
- 11-3 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか
- 11-4 学内での適切な体制が整備されているか

ご記入者ご芳名_____

○昨年同様、評価内容につき、ご意見をお書き下さい

○その他、特記すべき内容がございましたら、ご意見をお書き下さい

令和7年度
学校関係者評価書

自：令和 7年 4月 1日
至：令和 8年 3月31日

藤影きもの専門学校
学校関係者評価委員会

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を受けられるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、学校評価（自己評価・学校関係者評価）と実施する。

専門学校として、実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成度等について評価する。また、その評価結果に基づき、学校としての組織的・継続的に改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者などを選任し、令和5年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価結果についての評価を行い、改善に向けて助言を行う。

3. 評価項目

- (1) 自己評価の内容が適切か。
- (2) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方法が適切か。
- (3) 学校の重点目標や具体的方法等が適切か。
- (4) 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切か。

4. 組織

- (1) 事務局 学校長代行
 事務局 副校長
 事務 事務職員
 委員 保護者
 卒業生
 地域住民
 高等学校関係者
 地域企業会長

(2) 任期

令和8年4月1日から令和10年3月31日までの期間とする。

5. 実施

委員会の開催が、各委員からの要望により、自己評価を委員に事前説明・配布し、評価に関して説明・意見方法をとった。

6. 評価要領

委員会の開催が、自己評価を委員に事前説明・配布し、対面にて話し合う形をとった。

7. 自己評価概要

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか
- 1-2 学校の特色は何か
- 1-3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

- 2-1 運営方針は定められているか
- 2-2 事業計画は定められているか
- 2-3 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 2-4 人事、給与に関する制度は整備されているか
- 2-5 教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか
- 2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 3-2 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- 3-3 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 3-4 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
- 3-5 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 3-6 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
- 3-7 資格取得の指導体制はあるか
- 3-8 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 3-9 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4) 学修成果

- 4-1 就職率の向上が図られているか
- 4-2 資格取得率の向上が図られているか
- 4-3 退学率の低減が図られているか
- 4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

(5) 学生支援

- 5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 5-2 学生相談に関する体制は整備されているか
- 5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- 5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

- 5-5 学生の生活環境への支援は行われているか
- 5-6 保護者と適切に連携しているか
- 5-7 卒業生への支援体制はあるか
- 5-8 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか

(6) 教育環境

- 6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか
- 6-3 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受入れ・募集

- 7-1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか
- 7-2 学生募集活動は、適正に行われているか
- 7-3 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか
- 7-4 学生納付金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか
- 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 9-3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- 9-4 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか

(11) 国際交流

- 11-1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか
- 11-2 受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか
- 11-3 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか
- 11-4 学内での適切な体制が整備されているか

8. 自己評価結果と改善点の概要

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- ・少人数制による個々の能力を伸ばす

- (2) 学校運営
 - ・事業計画について
- (3) 教育活動
 - ・教員研修について
 - 外部教材で技術共有を行っている
- (4) 学修成果
 - 着実にレベルアップできるように指導
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
 - ・避難訓練等の実施状況
 - 毎年実施
- (7) 学生の受入れ・募集
 - ・募集活動に関して
 - 和裁を学ぶ学生の減少を危惧
- (8) 財務
 - ・安定している
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
 - ・大安寺 6月笹酒祭り 2月竹供養 ボランティア参加
- (11) 国際交流
 - ・奈良コンピュータ専門学校、奈良総合ビジネス専門学校の留学生に対して、
きものの着付け等で交流している
 - また、奈良の伝統行事にも留学生も参加

9. 項目別評価結果（順不同 自由記述）

- (1) 教育理念・目的・人材育成像
 - ・ほぼ適切
- (2) 学校運営
 - ・おおむね適切 ほぼ適切
- (3) 教育活動
 - ・高度な技術の質問にもきちんと答えてくれる
 - ・あいさつに取り組んでいる点が良い
- (4) 学修成果
 - ・適切である
 - ・技術習得のための教材確保
 - ・卒業生の技術向上
 - ・自営和裁士として、活躍されている点

(5) 学生支援

- ・一人暮らし家賃サポートがある
- ・少人数で目が届きやすい

(6) 教育環境

- ・災害時の行動指針を教室に掲示してある
- ・引き続き消毒換気等の継続

(7) 学生の受入れ・募集

- ・学費の減免もありよい
- ・募集は厳しい

(8) 財務

- ・適切

(9) 法令等の遵守

- ・適切な運営に努めていると思う
- ・評価は適切
- ・個人情報に関して、説明がなされている

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・毎日の掃除がある
- ・通学路の清掃がある

(11) 国際交流

- ・多く感じる
- ・適切に評価が行われている

10. 学校評価委員からの総括

少人数のため個々の能力別に対応できている

きもの文化 きものそのものに興味を持つようになった

令和7年度
学校関係者評価書

自：令和 7年 4月 1日
至：令和 8年 3月31日

奈良コンピュータ専門学校
学校関係者評価委員会

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を受けられるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、学校評価（自己評価・学校関係者評価）と実施する。

専門学校として、実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成度等について評価する。また、その評価結果に基づき、学校としての組織的・継続的は改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者などを選任し、令和5年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価結果についての評価を行い、改善に向けて助言を行う。

3. 評価項目

- (1) 自己評価の内容が適切か。
- (2) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方法が適切か。
- (3) 学校の重点目標や具体的方法等が適切か。
- (4) 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切か。

4. 組織

- (1) 事務局 学校長代行
 事務局 副校長
 事務 事務職員
 委員 保護者
 卒業生
 地域住民
 高等学校関係者
 地域企業会長

(2) 任期

令和8年4月1日から令和10年3月31日までの期間とする。

5. 実施

委員会の開催が、各委員からの要望により、自己評価を委員に事前説明・配布し、評価に関して説明・意見方法をとった。

6. 評価要領

委員会の開催が、自己評価を委員に事前説明・配布し、対面にて話し合う形をとった。

7. 自己評価概要

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか
- 1-2 学校の特色は何か
- 1-3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

- 2-1 運営方針は定められているか
- 2-2 事業計画は定められているか
- 2-3 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 2-4 人事、給与に関する制度は整備されているか
- 2-5 教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか
- 2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 3-2 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- 3-3 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 3-4 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
- 3-5 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 3-6 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
- 3-7 資格取得の指導体制はあるか
- 3-8 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 3-9 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4) 学修成果

- 4-1 就職率の向上が図られているか
- 4-2 資格取得率の向上が図られているか
- 4-3 退学率の低減が図られているか
- 4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

(5) 学生支援

- 5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 5-2 学生相談に関する体制は整備されているか
- 5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- 5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 5-5 学生の生活環境への支援は行われているか
- 5-6 保護者と適切に連携しているか

- 5-7 卒業生への支援体制はあるか
- 5-8 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか

(6) 教育環境

- 6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか
- 6-3 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受入れ・募集

- 7-1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか
- 7-2 学生募集活動は、適正に行われているか
- 7-3 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか
- 7-4 学生納付金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか
- 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 9-3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- 9-4 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか

(11) 国際交流

- 11-1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか
- 11-2 受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか
- 11-3 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか
- 11-4 学内での適切な体制が整備されているか

8. 自己評価結果と改善点の概要

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- ・少人数制による個々の能力を伸ばす

→日本人学生は少人数のため、細やかな指導が可能

- (2) 学校運営
 - ・事業計画について
 - (3) 教育活動
 - ・教員研修について
 - オンラインでの研修に参加
 - (4) 学修成果
 - 内定獲得に直結している
 - (5) 学生支援
 - ・卒業生の支援
 - 支援制度がある
 - (6) 教育環境
 - ・避難訓練等の実施状況
 - 毎年実施している
 - (7) 学生の受入れ・募集
 - ・募集活動に関して
 - 留学生に対しても適正に入学試験（筆記・面接）を行っている
 - ・適正校を継続できるよう、指導・管理を徹底する
 - (8) 財務
 - ・安定している
 - (9) 法令等の遵守
 - ・適切な運営に努めている
 - (10) 社会貢献・地域貢献
 - ・奈良県警サイバー犯罪課と連携し、動画作成等を行っている
 - (11) 国際交流
 - ・学園祭として、留学生が母国料理の模擬店を出店
 - 交流を図っている
9. 項目別評価結果（順不動 自由記述）
- (1) 教育理念・目的・人材育成像
 - (2) 学校運営
 - (3) 教育活動
 - ・シラバスの説明
 - ・教員研修再開後参加予定 オンラインによる
 - ・携帯電話の適切な使用
 - (4) 学修成果
 - ・就職希望者はほぼ内定を
 - (5) 学生支援
 - ・適切
 - ・対面授業

(6) 教育環境

- ・新型コロナ対策 しっかりできている

(7) 学生の受入れ・募集

- ・学園独自の学費の減免もありよい

(8) 財務

- ・適切

(9) 法令等の遵守

- ・適切な運営に努めていると思う
- ・評価は適切
- ・個人情報に関して、説明がなされている

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・奈良県警察サイバー犯罪課と連携
- ・学生の掃除が毎週にある
- ・通学路清掃がある

(11) 国際交流

- ・適切に評価が行われている

10. 学校評価委員からの総括

- ・留学生の国際交流が地域に広がることも期待
- ・朝の登校指導の継続
- ・留学生の適切な管理の継続

令和7年度
学校関係者評価書

自：令和 7年 4月 1日
至：令和 8年 3月31日

奈良総合ビジネス専門学校
学校関係者評価委員会

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を受けられるよう、学校運営の改善と発展を目指すため、学校評価（自己評価・学校関係者評価）と実施する。

専門学校として、実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成度等について評価する。また、その評価結果に基づき、学校としての組織的・継続的は改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者などを選任し、令和5年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価結果についての評価を行い、改善に向けて助言を行う。

3. 評価項目

- (1) 自己評価の内容が適切か。
- (2) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方法が適切か。
- (3) 学校の重点目標や具体的方法等が適切か。
- (4) 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切か。

4. 組織

- (1) 事務局 学校長代行
 事務局 副校長
 事務 事務
 委員 保護者
 卒業生
 地域住民
 高等学校関係者
 地域企業会長

(2) 任期

令和8年4月1日から令和10年3月31日までの期間とする。

5. 実施

委員会の開催が、各委員からの要望により、自己評価を委員に事前説明・配布し、評価に関して説明・意見方法をとった。

6. 評価要領

委員会の開催が、自己評価を委員に事前説明・配布し、対面にて話し合う形をとった。

7. 自己評価概要

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか
- 1-2 学校の特色は何か
- 1-3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

- 2-1 運営方針は定められているか
- 2-2 事業計画は定められているか
- 2-3 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 2-4 人事、給与に関する制度は整備されているか
- 2-5 教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか
- 2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3) 教育活動

- 3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 3-2 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- 3-3 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 3-4 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
- 3-5 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 3-6 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
- 3-7 資格取得の指導体制はあるか
- 3-8 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 3-9 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4) 学修成果

- 4-1 就職率の向上が図られているか
- 4-2 資格取得率の向上が図られているか
- 4-3 退学率の低減が図られているか
- 4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

(5) 学生支援

- 5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 5-2 学生相談に関する体制は整備されているか
- 5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- 5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 5-5 学生の生活環境への支援は行われているか
- 5-6 保護者と適切に連携しているか

- 5-7 卒業生への支援体制はあるか
- 5-8 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか

(6) 教育環境

- 6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか
- 6-3 防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受入れ・募集

- 7-1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか
- 7-2 学生募集活動は、適正に行われているか
- 7-3 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか
- 7-4 学生納付金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか
- 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- 9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 9-3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- 9-4 自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか

(11) 国際交流

- 11-1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか
- 11-2 受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか
- 11-3 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか
- 11-4 学内での適切な体制が整備されているか

8. 自己評価結果と改善点の概要

(1) 教育理念・目的・人材育成像

- ・医療秘書科は少人数制による個々の能力を伸ばすし、検定試験合格を目指している
就職活動も個々の希望を聞き入れ、個々に合った就職先を指導する
- ・留学生は能力別クラス制を実施することにより、個々の能力アップを目指す

- (2) 学校運営
 - ・事業計画についての説明
 - (3) 教育活動
 - ・教員研修について
 - 実際の病院現場の話を聞く機会を作る
 - 卒業生の就職先訪問、病院実習の挨拶時、事務長もしくは医事課長等々の要望も聞く
 - (4) 学修成果
 - 毎年、全国医療秘書協議会より全国優秀者を輩出
 - 成果が出ている
 - (5) 学生支援
 - ・卒業生の支援
 - 卒業生が就職後報告がてら、訪問が多い
 - 転職支援が手厚いのも良い
 - (6) 教育環境
 - ・避難訓練等の実施状況
 - 毎年実施している
 - (7) 学生の受入れ・募集
 - ・募集活動に関して
 - 少子化の中において、奈良県内の希望者が少ない
 - 日本語学科の募集はコロナ以降安定
 - (8) 財務
 - ・安定している
 - (9) 法令等の遵守
 - ・適切な運営に努めている
 - (10) 社会貢献・地域貢献
 - ・医療秘書科も毎年奈良コンピュータ専門学校とともに奈良県警サイバー犯罪課サイバー犯罪啓発活動に参加している
 - ・大安寺にて笹娘として、ボランティア参加
 - (11) 国際交流
 - ・奈良コンピュータ専門学校の留学生が学園祭として、母国料理の模擬店を出店
そこに、奈良総合ビジネス専門学校留学生も参加し、日本人との交流を図っている
 - ・国際交流イベントに参加
9. 項目別評価結果（順不動 自由記述）
- (1) 教育理念・目的・人材育成像
 - ・病院実習による直接的な交流

(2) 学校運営

(3) 教育活動

- ・朝、登校指導とあいさつに取り組んでいることが評価されつつある

(4) 学修成果

- ・今年も、多くの資格を取得し卒業

(5) 学生支援

- ・少人数を生かした個別の就職指導

(6) 教育環境

- ・病院実習

(7) 学生の受入れ・募集

- ・少子化の影響と奈良県の進学状況
- ・学費の減免もありよい

(8) 財務

- ・適切

(9) 法令等の遵守

- ・個人情報に関して、オリエンテーション時に説明がなされているとのこと

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・奈良県警サイバー犯罪課との連携
- ・学生の毎週の掃除がある

(11) 国際交流

10. 学校評価委員からの総括

- ・留学生日本語学科の生活指導
- ・留学生日本語学科の進路指導
- ・各国々の特性に合わせた指導
- ・医療事務の実習先の確保
- ・医療秘書科の就職先の確保